

県民の命を守る新たな対策

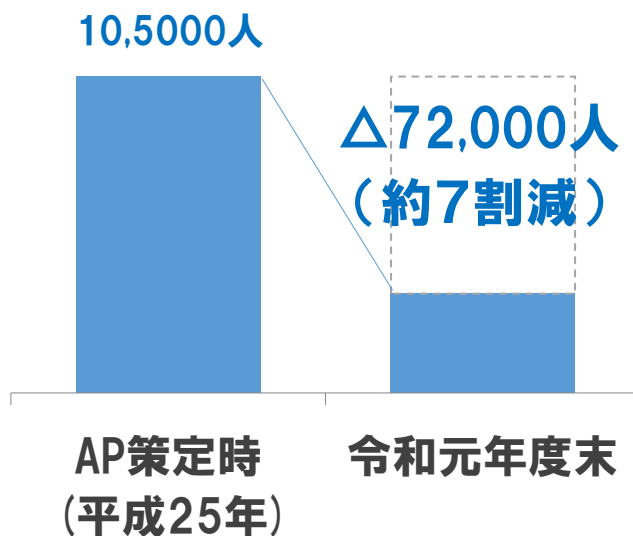
～「わたしの避難計画」による早期避難意識の醸成～



危機管理部 危機政策課

静岡県地震・津波対策アクションプログラム2013

■南海トラフ巨大地震による想定犠牲者



アクションの実行により

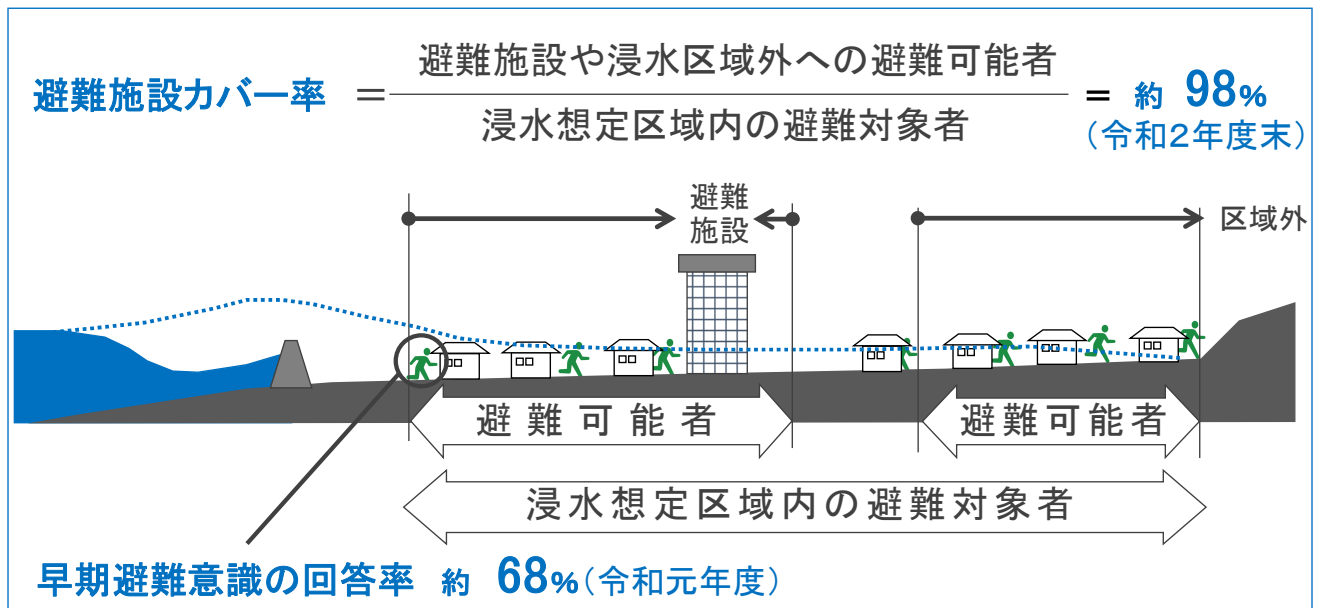
2019年度末時点で
約72,000人の
(約7割)

減災を実現

**減災目標8割減(令和4年度末:△85,000人)に向かって、
順調に進んでいます。**

減災目標達成のために

避難による減災効果 = 津波犠牲者 × 避難施設カバー率 × 早期避難意識回答率



津波避難施設の効果を発揮し、県民の命を守るため、早期避難意識の更なる向上が必要です。

わたしの避難計画 < 牧之原市の例 >

「わたしの避難計画」

冷感線や点線など目につく場所に貼っておこう！

大雨の時

河川氾濫 **土砂災害**

●避難のタイミング

●避難先

●情報収集手段 (●を塗りつぶす)

- 牧之原市LINE
- まきのほら Teaメール
- 静岡県防災アプリ
- その他

巨大地震の時

自宅に津波が来る地域 **自宅に津波が来ない地域**

●避難のタイミング

●避難先 (集合場所)

※ 町内会で決められている場所

その後に判断

- 自宅が危険な場合は 指定避難所へ
- 自宅にいても安全な場合は 自宅で待機

～作成ガイドで確認したことをメモしておこう～

河川氾濫による危険 (いずれか一つに☑をつけておく)

家屋流出のおそれあり (家屋倒壊のおそれのある区域に居住)

家屋流出のおそれはないが、浸水のおそれあり (河川の浸水想定区域に居住)

危険なし

土砂災害による危険 (いずれか一つに☑をつけておく)

土砂災害のおそれあり

[] を [] で囲もう

土砂災害警戒区域に住んでいる

土砂災害特別警戒区域に住んでいる

危険なし

いざという時には、パニックにならないで落ち着いて確認、行動しよう！

自由記載欄 (持ち出し品や、家族や親戚の電話番号 など)

巨大地震に備え、1週間分の水・食料・生活必需品の備蓄をしましょう！

個人ごとの避難計画「わたしの避難計画」の作成により、県民の早期避難意識の向上を図ります。

住民ワークショップ(R3年度)



菊川市



焼津市



清水町



御前崎市

8地区×2回
参加者延べ約370人



伊豆の国市



牧之原市



南伊豆町



河津町

誰もが記入しやすい「わたしの避難計画」の雛形を作るため、
分かりづらい点や作りづらさなどの率直な意見をもらいました。

住民意見の反映(抜粋)

① 情報のスリム化

作成ガイド
A4×約40ページ



情報量が多い



作成ガイド
A3×1枚

② 情報のローカル化

市町全域の
ハザードマップを使用



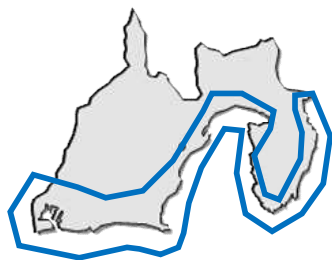
自宅を探しにくい



参加者の居住地に
範囲を絞った
ハザードマップを
作成ガイドに掲載

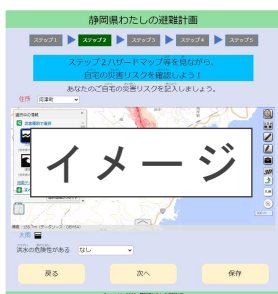
R4年度の普及展開

①重点地域における「わたしの避難計画」の普及



- **市町と連携して、津波浸水想定区域内での普及を目指します。**

②「わたしの避難計画」電子版を県HPに構築



- **プッシュ型配布を基本としつつ、幅広い世代への普及のため、スマートフォン等で入力できる電子版を構築します。**